

ハルトマン輸液「NP」

配合変化試験

～ pH変動試験～

ハルトマン輸液「NP」のpH 変動試験

1. 試験目的

ハルトマン輸液「NP」は、乳酸リンゲル液である。

今回、本製剤の pH 依存性の配合変化を予測するために pH 変動試験を実施したので報告する。

2. 試料

ハルトマン輸液「NP」

3. 試験方法¹⁾

ハルトマン輸液「NP」10mL をとり、0.1mol/L 塩酸または 0.1mol/L 水酸化ナトリウム水溶液をもって滴定し、持続的な外観変化が認められた pH（変化点 pH）および滴定量(mL)を測定した。10mL の両試液を滴加しても何ら外観変化の見られない場合、その時点の pH を測定した（最終 pH）。

4. 試験結果

試料名	試料 pH	変化点までに要した mL 数	最終 pH または 変化点 pH	pH 移動指数	変化所見
ハルトマン輸液「NP」	6.72	0.1mol/L HCl 10	1.54	5.18	変化なし
		0.1mol/L NaOH 10	12.71	5.99	変化なし

5. 参考文献

1) 幸保文治、注射薬を考える（1988）、メディカルトリビューン